

ひかわ生協 看護小規模多機能事業所みなみ

2026 年度 第 1 回 運営推進会議報告書

日時：2026 年 5 月 27 日（水） 14：25 ～ 14：40

会場：あっとホームひかわ食堂

参加者：出雲市健康福祉部高齢者福祉課様
斐川高齢者あんしん支援センター様
住民代表様 様 久木地区
利用者様 様
斐川生協病院院長 医師
ひかわ生協専務 専務
介護事業部部長
介護事業部副部長
看護小規模みなみ主任
介護事務

司会： 書記：

議事

I. 自己紹介

II. 事業活動報告

- ① 稼働報告
- ② 活動内容
- ③ 事例報告
- ④ 質の向上
- ⑤ 他の事業所、医療との連携
- ⑥ 社会参加について
- ⑦ 苦情・要望について
- ⑧ アクシデント・インシデントについて

III. 質疑応答

利用者さんより

・みなみを利用してお風呂に入っておりましたが、自分でお風呂に入れるようになりま

した。またリハビリもしてもらいながら住宅で過ごせるようになりました。

痛みもよくなり、こんなに元気になりました。

（質）高齢者住宅に入居されている利用者は何名ですか？

（答）利用者数の約半数程度が高齢者住宅に入居されています。

（質）専門的な技術の必要性が必要かとおもいます。

（答）職員の経験や技術は異なると思います。コロナ禍に学生をしていた職員は、実習ができないこともあり、不安を抱えているところも見受けられます。現場で一緒に経験を積みながら学ぶことを大切にして、経験を積み上げています。

（質）みなみがサテライト2つをまとめるような感じでしょうか。

（答）本体事業としてはみなみです。サテライトと共に一体的な運営が必要です。

（質）今年度4月の新規採用はありましたか。

（答）1名看護師を採用しました。

（質）今度はこの会議も拡大版にするというチラシを見ました。

（答）看多機がどんなところか、地域の方にもっと知っていただくことが課題と思っています。地域密着サービスの会議に参加していただきたく、機関誌に運営推進会議参加のチラシを入れております。もっと地域の方に看多機を知って利用していただきたいです。

IV. その他

ひかわ生協 看護小規模多機能事業所みなみサテライトれもん

2026 年度 第 1 回 運営推進会議報告書

日時：2026 年 5 月 27 日（水） 13：55 ～ 14：10

会場：あっとホームひかわ食堂

参加者：出雲市健康福祉部高齢者福祉課様
斐川高齢者あんしん支援センター様
住民代表様
利用者様
斐川生協病院院長 医師
ひかわ生協専務 専務
介護事業部部長
介護事業部副部長
看護小規模みなみサテライトれもん主任
介護事務

司会： 書記：

議事

I. 自己紹介

II. 事業活動報告

- ① 稼働報告
- ② 活動内容
- ③ 事例報告
- ④ 質の向上
- ⑤ 他の事業所、医療との連携
- ⑥ 社会参加について
- ⑦ 苦情・要望について
- ⑧ アクシデント・インシデントについて

III. 質疑応答

(質) 事例報告の方の利用状況は？トイレはポータブルトイレを使用されていますか？

(答) 月～木まで泊りを利用しておられます。排泄はポータブルトイレを使用し、ご自分で移乗されています。今後の生活について、ご家族と検討しているところです。

(質) 週末はご自宅で生活されていると、泊まり利用時は職員に頼ってしまう状況もあると思うので、自立支援が難しいところだと思います。看多機を利用しながら、自宅での生活が継続できるよう自立支援をしていけるといいですね。

IV. その他

ひかわ生協 看護小規模多機能事業所みなみサテライトとまと

2026 年度 第 1 回 運営推進会議報告書

日時：2026 年 5 月 27 日（水） 14：10 ～ 14：25

会場：あっとホームひかわ食堂

参加者：出雲市健康福祉部高齢者福祉課様 様

斐川高齢者あんしん支援センター様 様

住民代表様 様

利用者様 様

斐川生協病院院長 医師

ひかわ生協専務 専務

介護事業部部長

介護事業部副部長

看護小規模みなみサテライトとまと主任 （代行 ）

介護事務

司会： 書記：

議事

I. 自己紹介

II. 事業活動報告

- ① 稼働報告
- ② 活動内容
- ③ 事例報告
- ④ 質の向上
- ⑤ 他の事業所、医療との連携
- ⑥ 社会参加について
- ⑦ 苦情・要望について
- ⑧ アクシデント・インシデントについて

III. 質疑応答

（質）年間を通して 18 人利用でしょうか。少ないときはありますか？職員さん何名くらいおられますか？

（答）登録人数の上限が 18 名となります。入院される方もおられますので、常に 18 人

ではありません。6人のスタッフで対応しておりますが、看多機3事業所が一体的に運営しておりますので、協力体制をとりながらしている状況です。

（質）看護師さんはいつもおられますか？

看護師はそれぞれの事業所に配置しております。通いの人数は10名程度で、3.5～4人で対応しております。

（質）夜間の対応は？

（答）夜勤者1名で対応しております。夜勤帯は2交代で、泊りは本体のみなみに集まって泊まりますが、泊まりのご希望が多い時は2事業所で泊り対応をしております。

（質）他の部署とのミーティングはありますか？

（答）利用者さんの状態が変わったりすると、緊急で集まり相談します。MCSというソフトで病院Dr、NSとの連携情報交換をしております。

（質）スタッフの体調や業務が大変ですね。勤める方が大変だなというイメージです。

（答）利用者さんの体調やご希望に応じて勤務調整が必要になることもあります。

本体みなみは9名泊まることができ、職員1名で対応します。

（質）利用者さんの介護度が高い感じがします。利用者さんは家では過ごせないけど入院はできないという狭間で悩んでおられる。施設もなかなか入居できない状況ですから、看多機の利用につながるのですね。

（答）そう感じています。退院を迫られ困り相談にいらっしゃるケースも多いです。次につなげていく役割も担っていると思っています。

IV. その他